

2021年6月 全国拡大教材製作協議会 定例世話人会 議事録

出席者：21名

越島(四街道)・傍島(柏)・猪狩(下丸子)・山本(大宮)・播磨(浦和)・宮崎(赤いくつ)
 長田(AEMC)・武田(AEMC)
 松宮(視援奉)・奥野(ルーペ)・吉田(のあざみ)・三浦(豊明)・山本(愛視援)
 伊藤(みえの会)・秋山(坂戸)・付岡(赤いくつ)・植竹(ワルツ)・菊武(たんぽぽ会)
 菅野(こだまの会)・深井(こくぶんじ)・由井(こだまの会)

日時：2021年6月23日(水)14:00~15:30

場所：Zoomにより開催

審議事項

1. AEMCより長田氏・武田氏を招いて、デジタルデータの活用に関して意見交換を行った。

拡大写本グループ	AEMC
Q: データを早く欲しいのですが。 A: 数種類手掛けているグループは、授業に間に合うよう順次発送している。	A: 大改訂の年は教科書の出来上がりも遅くなり提供が遅れ気味になってしまう。 Q: 拡大教科書は製作したものから順次発送か。4月に全て作成か。 多くのグループが早く作業に入れるよう、教科書を巻頭・本編1・本編2・巻末に分割して、新学期に必要な巻頭・巻末を早めに提供していきたい。
Q: PDFの画像の上の文字を切り取ったら、白抜けするのを改善してほしい。	A: 発行者と話し合いを重ね、次の改訂時には使い易くなるよう検討中です。
Q: テキストデータにルビがある箇所・ない箇所があったり、間違いが多かった。	A: テキストの作成に大人数で取り組んだが、徹底できない所もあった。注意していきたい。
Q: 行頭の字下げを入れてください。	A: 検討します。
Q: 英語の発音記号はテキスト化されない ので、他から(無料ダウンロード)もってくるしかなかった。解決策はあるか。 A: (他グループより)発音記号は出版社によって違うので、PDFから切り取った。	
Q: 発行者によって、画像が鮮明でないものがある。	A: 数グループから問合せもきている。発行者に改善の依頼を出すので、気になる場合は連絡してほしい。
問題なく作業出来てありがたいです。	

拡大写本グループ	AEMC
Q: PDF のダウンロードにかなりの時間がかかる。	A: ソフトバンクのクラウドサービスを使用。操作は比較的わかりやすいが、ウイルスチェックに時間を要することもある。サーバが混み合うことが原因とも考えにくいので、改めて、ソフトバンクに改善を依頼します。
Q: データを解凍するとき、メディアパスワード・教科書パスワードの入力画面を大きくして欲しい。(CD での受け取り)	A: クラウドによるダウンロードでは、パスワードは入力の必要は無くコピーでいいので、お勧めです。
Q: 利用者が年度中に転居で使用教科書が違った場合、改めてデータを申請することは可能か。	A: 改めて手続きをしていただければ、提供できます。
Q: データの申請は増えていますか。	A: 全体的に増えている。拡大写本グループからの依頼が多かったが、今年度は音声グループからの依頼が増えている。
	デジタルデータについて、申請・発送その他、なんでもお問い合わせください。

テキストのデータ化は、教科書の画像のなかの文字・地図の地名表示等、どこまでテキスト化したらいいか迷いながらの作業されている様子も垣間見えた。拡大教科書作りで、PDF から切り取る方が効率的な箇所でもテキスト化すれば、作業に負担がかかり、データの仕上がりが遅くなることも懸念されるので、次回は AEMC より問題提起してもらい、テキスト化の効率化につなげたい。

2. 高校の拡大教科書有料化について (筑波大学付属視覚支援学校 宇野先生より)

*現在、高校の拡大教科書は有料であり、盲学校等の就学奨励金を受けられない生徒は多額の負担を強いられるケースも考えられるので、格差をなくしていけるよう、国会に訴えていきます。

次回世話人会 2021年7月28日(水)14:00~を予定 (ZOOMにて)